

歩こう会の思い出 (3)

芭蕉は、琵琶湖周辺の自然物をさりりと詠んでもその光景や情感が映し出されていて人は感動しますね。琵琶湖に浮かぶ鴟(カイツブリ)、雪の中を飛ぶ鷺(ワシ)、膳所から見る湖水と周辺の山々、松の様子、浮御堂の扉を開き月光を浴びた仏像を拝んだ感動等々。芭蕉は黄泉の国へ旅立つ直前に近江で眠りたいと望んでいました。

「旅に病で夢は枯野をかけ廻る」大阪での句会
のとき、体調を崩した彼は大勢の弟子に見守られながら51歳で永眠し遺骸は膳所の義仲寺に運ばれ葬られました。「旅に病んで」の句は元々辞世でなく病に臥しながら弟子と句の工夫をしていたものと言われていた芭蕉の絶唱です。芭蕉はびわ湖や野山の自然をこよなく愛しました。四季折々の様子を句に詠むとき、対象の事物の立場に立って接しているのが句碑巡りをしているようでわかります。芭蕉は歩き続けて芸風を磨きました。私も毎日歩くことだけは続けたいと願っています。

(完) (寄稿) 上村弘太郎さん



「寄稿のお礼」

上村さんには1年間歩こう会の貴重な経験談をご寄稿いただき誠にありがとうございました。これからもお元気で今後の健康とご活躍をお祈り申し上げます。

(記：京都支部だより編集委員一同)

ヤング&ミドル・シニア懇談会

10月9日(火)に今年65歳と70歳を迎えられる会員を対象にした「ヤング&ミドル・シニア懇談会」をビアレストラン「ミュンヘン」で開催しました。

1部の懇談会には対象者20名、支部役員11名の合計31名が出席され、最初に自己紹介(近況報告)から始まりました。皆さんそれぞれ思いに自己紹介や近況報告をされました。

引き続き永田支部長より松愛会と京都支部の活動における最新情報について報告がありました。内容は①大阪北部地震の被災申請状況について、②新入会基準で入会された方の内訳説明③京都支部の現況調査結果と経年実態の状況等です。最後は全員の集合写真撮影で1部を終了しました。

2部では対象者26名、支部役員10名の合計36名で二火会に合流して飲食をしながらの交流会になりました。西脇副支部長の司会で始まり、永田支部長の乾杯で懇談会がスタートしました。バイキング料理やビール等の飲み物を楽しみながら、時間の経過とともに少しずつ参加者同士が打ち解け合い交流が深まりました。宴の最後は、二火会の山之内さんの閉会の挨拶、波多野さんの一本締めで閉会となりました。

(記：横山 一夫)

ヤング&ミドル・シニア懇談会の様子



全員で記念写真



懇談会の始まり



永田支部長の挨拶



説明を聞いています



ミドル・シニア自己紹介



ヤング女性会員自己紹介



ミドル・シニア自己紹介



ヤング会員自己紹介



2部開宴前の談笑



西脇副支部長の司会で開宴



話はずみずみ



談笑中です



談笑の全開です



波多野さんの締めの挨拶



参加ありがとうございました



お気をつけてお帰りください